

# 鎌倉市 公共施設の再編について

鎌倉市では、現在、公共施設の老朽化が進み、今後集中して必要となる施設の建て替えや改修などに係る多額の費用確保が課題となっています。今ある公共施設を残す、さらに充実させるのではなく、機能を維持していくために複合化や集約化などの「公共施設の再編」に向けた取組を進めています。市民の皆さま一人ひとりが課題について考え、「世界に誇れる持続可能なまち鎌倉」という財産を子どもたちに残していきたいです。

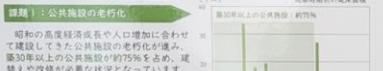
- 4つの施設を複合化 (村木産保育園、福瀬川保育園、子育て支援センター、障害児通所支援施設)
- 津波避難機能も備えた施設として整備しました。



- 6つの市営住宅を1か所に集約化 (A～E棟の全5棟) (深沢住宅、富岡住宅、桜原住宅、桜原東住宅、緑木住宅、岡本住宅)
- 民間事業者のノウハウを活用して、整備を進めています。



## 公共施設を取り巻く現状・課題



課題2：変化する人口

約40年後、鎌倉市の輸入人口は推計で13.8万人に減少、高齢者の割合は全体の約半額となり、少子高齢化の更なる進行が予想されます。

課題3：更新などに係る多額のコスト

現在の公共施設を令和と同じように建て替えや改修で更新し続けた場合、令和35年度(2053年度)までに約2,500億円(年平均62.6億円)が必要になると試算しています。また、更新コストが伸びて、維持コストが必要となります。

課題4：ニーズに合わせ、利用できない、利用されない施設が出てくる

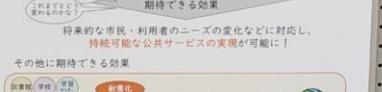
1 建て替えや改修が進み、施設機能が低下、費用も増大化する

2 パラアリーナや省エネによる省エネ化などに対応できない

3 更新コストなどの増大や人口減少に伴い、市民1人当たりの費用負担が増える

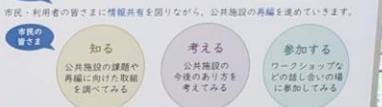
## 課題解決に向けて

現状・課題を踏まえると、全ての公共施設を更新・維持することは困難です。そのため、「鎌倉の魅力を継承しつつ、次世代に誇りある負担を渡さない」ことを前提として、新しい時代にあった価値を提供できるような公共施設のあり方を見直すことを目的に、平成26年度(2014年度)に「鎌倉市公共施設再編計画」を策定し、令和5年度(2023年度)に改訂しました。現在、その計画に基づき再編に向けた取組を進めています。



## 公共施設再編に向けた取組方針

- 1 施設計画は、構想段階から情報発信や説明会などの話し合いの場を設けながら進めていきます。
- 2 市民生活の向上を検討する施設についても、市民・利用者の皆さまからの意見を聞きながら、丁寧に進めていきます。



## 市民の皆さまの声(市民アンケート結果)

令和3年度(2021年度)に公共施設の再編に関する市民アンケートを実施しました。鎌倉市の公共施設の再編に関するご意見を一部紹介します。

▼アンケート設問① 鎌倉市の公共施設マネジメント(再編)に向けた取組をご存じですか。

■回答①

知っている 19% / 知らない 81%

▼アンケート設問② 公共施設の維持・管理には多額の経費がかかることから、市では、施設の複合化・集約化を進め、経費の削減、施設の効率化を進める方向性を示しています。1つの公共施設に複数の機能を果たせる施設の複合化・集約化について、あなたの考え方を最も近いものを1つ選んでください。

回答	割合
積極的に実施すべき	29%
施設の種別や需要を考慮し、実施すべき	62%
実施の複合化・集約化は、実施すべきでない	2%
わからない	7%

▼回答② 「積極的に実施すべき」及び「施設の種別や需要を考慮し、実施すべき」の割合の合計は91%を超えています。

鎌倉市 総務部 公的不動産活用課 公的不動産活用担当  
 〒248-8606 鎌倉市御成町18-10 TEL: 0467-23-3000 FAX: 0467-23-8700  
 詳細は、鎌倉市公式ホームページをご覧ください。  
 令和6年(2024年)4月 鎌倉市 公共施設再編の取組 広報